# 令８　特別支援学校（９枚のうち１）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅰ　特別支援教育全般について、次の問いに答えなさい。

１　「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～（答申）」（令和３年）から抜粋した特別支援教育に関する次の説明を読んで、あとの問いに答えなさい。

> ○特別支援教育は，障害のある子供の自立や(a)社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち，子供一人一人の教育的（　**A**　）を把握し，その持てる力を高め，生活や学習上の困難を改善又は克服するため，適切な（　**B**　）及び必要な支援を行うものである。また，特別支援教育は，（　**C**　）障害のある子供も含めて，障害により特別な支援を必要とする子供が在籍する全ての（　**D**　）において実施されるものである。
>
> ○全ての教師には，障害の（　**E**　）等に関する理解と指導方法を工夫できる力や，個別の教育支援計画・個別の指導計画などの特別支援教育に関する基礎的な知識，（　**F**　）配慮に対する理解等が必要である。加えて，障害のある人や子供との触れ合いを通して，障害者が日常生活又は（　**G**　）生活において受ける制限は障害により起因するものだけでなく，社会における様々な（　**H**　）と相対することによって生ずるものという考え方，いわゆる「（　**G**　）モデル」の考え方を踏まえ，障害による学習上又は生活上の困難について本人の立場に立って捉え，それに対する必要な支援の内容を一緒に考えていくような経験や態度の育成が求められる。また，こうした経験や態度を，多様な教育的（　**A**　）のある子供がいることを前提とした学級経営・（　**I**　）づくりに生かしていくことが必要である。

⑴　文中の（　**A**　）～（　**I**　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

⑵　次の**ア**～**ウ**について、正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

**ア**　多様な実態の子供の指導を行うため、特別支援学校の教師には、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を十分把握して、これを各教科等や自立活動の指導等に反映できる幅広い知識・技能の習得や、学校内外の専門家等とも連携しながら専門的な知見を活用して指導に当たる能力が必要である。

**イ**　特別な支援が必要な子供やその保護者については、必ず特別支援学校に就学し、乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまで、切れ目のない支援を受けられるような支援体制の整備を行うことが重要である。

**ウ**　特別支援学校に在籍する児童生徒が居住する地域の学校に副次的な籍を置く取組については、居住する地域との結び付きを強めたり、居住する地域の学校との交流及び共同学習を継続的に推進したりする上でも有意義であり、その一層の普及を推進することが重要である。

⑶　下線部(a)に関する次の文の下線部**ア**～**オ**について、正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

> ・特別支援学校におけるキャリア教育では，学校で学ぶことと$_{ア}$家庭との接続を意識させ，一人一人の社会的・$_{イ}$職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み，キャリア発達を促すことが重要である。
>
> ・早期からのキャリア教育では，$_{ウ}$保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や，$_{エ}$利己性を高める経験，産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから，その実施に当たっては，$_{オ}$地域の就労関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

２　次の⑴～⑸の文について、文中の（　**A**　）～（　**E**　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

⑴　「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）では、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターは、特別支援学校が（　**A**　）的機能を効果的に発揮するための重要な役割を担うとされている。

⑵　「生徒指導提要」（令和４年）では、生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己（　**B**　）を支えることを目的としている。

⑶　「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）では、医療的ケアが必要な子供について、就学先決定後速やかに学校、（　**C**　）及び保護者、主治医、学校医等が連携して、校内の医療的ケア実施体制の整備を開始し、入学後速やかに医療的ケアの実施が可能となるような体制づくりが必要であるとされている。

⑷　平成 18 年 12 月、国連総会において、「障害者の（　**D**　）に関する条約」が採択され、日本は平成 19 年９月に同条約に署名し、平成 26 年１月に批准した。

⑸　「強度行動障害を有する児童生徒への支援の充実について（周知）」（令和６年：文部科学省）において、強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「（　**E**　）」であるとされている。

# 令８　特別支援学校（９枚のうち２）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

３「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）から抜粋した早期からの一貫した教育支援について述べた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

・障害のある子供に対し，その障害を早期に把握し，早期からその発達に応じた必要な支援を行うことは，その後の自立や社会参加に大きな効果があると考えられるとともに，障害のある子供を支える（　①　）に対する支援という側面からも，大きな意義がある。
・早期から始まっている教育相談・支援を（　②　）に円滑に引き継ぎ，障害のある子供一人一人の精神的及び身体的な能力等をその可能な最大（　**A**　）まで発達させ，学校卒業後の地域社会に主体的に参加できるよう（　③　）支援を充実させるなど，一貫した教育支援が強く求められる。
・就学時に決定した学校や学びの場は，（　④　）したものではなく，それぞれの子供の発達の程度，適応の状況等を勘案しながら，小中学校等から特別支援学校又は特別支援学校から小中学校等といったように，（　⑤　）での転学等ができること，新たに通級による指導の開始や終了ができること，特別支援学級から通常の学級への学びの場の変更ができることなどを，全ての関係者の共通理解とすることが重要である。

⑴　文中の（　①　）～（　⑤　）に入る語句として適切なものを、次の**＜語群＞ア**～**ソ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

**＜語群＞**

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **ア** 一方向 | **イ** 地域 | **ウ** 卒業後 | **エ** 協働的 | **オ** 移行 | **カ** 乳幼児期 | **キ** 固定 | **ク** 家族 |
| **ケ** 支援者 | **コ** 将来 | **サ** 就学期 | **シ** 流動化 | **ス** 個別 | **セ** 双方向 | **ソ** 合意形成 | |

⑵　文中の（　**A**　）に入る適切な語句を書きなさい。

Ⅱ　特別支援学校学習指導要領について、次の問いに答えなさい。

１　特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年４月告示）「第７章　自立活動」について、次の問いに答えなさい。

⑴　次の**表**は、「第２　内容」に示された自立活動の区分である。表中の（　**A**　）～（　**E**　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、解答用紙の１つのマスには１字が入る。

**表**

| 区　分 | 項目の例 |
|---|---|
| 環境の（　**A**　） | ・感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。<br>・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 |
| （　**B**　）の動き | ・日常生活に必要な基本動作に関すること。<br>・作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 |
| 健康の（　**C**　） | ・身体各部の状態の理解と養護に関すること。<br>・障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 |
| （　**D**　）の形成 | ・自己の理解と行動の調整に関すること。<br>・集団への参加の基礎に関すること。 |
| （　**E**　）的な安定 | ・状況の理解と変化への対応に関すること。<br>・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。 |
| コミュニケーション | ・コミュニケーションの基礎的能力に関すること。<br>・言語の受容と表出に関すること。 |

⑵　次の**ア**～**エ**の文について、自立活動における個別の指導計画の作成と内容の取扱いに示されている内容として正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

**ア**　児童又は生徒が，興味をもって主体的に取り組み，成就感を味わうとともに他者を肯定的に捉えることができるような指導内容を取り上げること。
**イ**　個々の児童又は生徒が，活動しやすいように自ら環境を整えたり，必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような指導内容を計画的に取り上げること。
**ウ**　個々の児童又は生徒が，自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し，取り組めるような指導内容を取り上げること。
**エ**　重複障害者のうち自立活動を主として指導を行うものについては，全人的な発達を促すために必要な基本的な指導内容を，個々の児童又は生徒の実態に応じて設定し，系統的な指導が展開できるようにするものとする。

# 令８　特別支援学校（9枚のうち3）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

２　特別支援学校学習指導要領解説（総則編（小学部・中学部））（平成30年告示）「第２章　教育課程の編成及び実施」から抜粋した次の文を読んで、文中の（　①　）～（　⑦　）に入る語句として適切なものを、あとの**＜語群＞ア～シ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の具体的な内容については，中央教育審議会答申において，以下の三つの視点に立った授業改善を行うことが示されている。

・学ぶことに興味や関心をもち，自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら，見通しをもって（　①　）取り組み，自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。

・子供同士の（　②　），教職員や地域の人との対話，（　③　）の考え方を手掛かりに考えること等を通じ，自己の考えを（　④　）「対話的な学び」が実現できているかという視点。

・習得・活用・（　⑤　）という学びの過程の中で，各教科等の特質に応じた「（　⑥　）」を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見いだして解決策を考えたり，思いや考えを基に（　⑦　）したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

**＜語群＞**

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **ア** | 見方・考え方 | **イ** | 創造 | **ウ** | 広げ深める | **エ** | 協働 | **オ** | 実践 | **カ** | 粘り強く |
| **キ** | 積極的に | **ク** | 先哲 | **ケ** | 思考 | **コ** | 連携 | **サ** | 探究 | **シ** | 伝え広める |

３　特別支援学校学習指導要領解説（各教科等編（小学部・中学部））（平成30年告示）「第４章　知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」から抜粋した次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

学年ではなく，段階別に内容を示している理由は，発達期における知的機能の障害が，同一学年であっても，個人差が大きく，学力や学習状況も異なるからである。そのため，段階を設けて示すことにより，個々の児童生徒の実態等に即して，各教科の内容を（　①　）して，効果的な指導ができるようにしている。

今回の改訂では，各段階における育成を目指す（　**A**　）を明確にすることから，段階ごとの目標を新設し，小学部は３つの段階，中学部は新たに段階を新設し２つの段階により目標を示している。

各段階の内容は，各段階の目標を達成するために必要な内容として，児童生徒の生活（　**B**　）を基盤とし，知的能力や適応能力及び概念的な能力等を考慮しながら段階毎に配列している。

○各段階の構成

【小学部　１段階】

主として知的障害の程度は，比較的重く，他人との意思の疎通に困難があり，日常生活を営むのに（　②　）援助が必要である者を対象とした内容を示している。

この段階では，知的発達が極めて未分化であり，認知面での発達も十分でないことや，生活（　**C**　）の積み重ねが少ないことなどから，主として教師の直接的な援助を受けながら，児童が体験し，事物に気付き注意を向けたり，関心や興味をもったりすることや，基本的な行動の一つ一つを着実に身に付けたりすることをねらいとする内容を示している。

【小学部　２段階】

知的障害の程度は，１段階ほどではないが，他人との意思の疎通に困難があり，日常生活を営むのに（　③　）援助を必要とする者を対象とした内容を示している。

この段階では，１段階を踏まえ，主として教師からの言葉掛けによる援助を受けながら，教師が示した動作や動きを模倣したりするなどして，（　**D**　）をもった遊びや行動をとったり，児童が基本的な行動を身に付けることをねらいとする内容を示している。

【小学部　３段階】

知的障害の程度は，他人との意思の疎通や日常生活を営む際に困難さが見られる。（　④　）援助を必要とする者を対象とした内容を示している。

この段階では，２段階を踏まえ，主として児童が自ら場面や順序などの様子に気付いたり，主体的に活動に取り組んだりしながら，（　**E**　）生活につながる行動を身に付けることをねらいとする内容を示している。

# 令８　特別支援学校（９枚のうち４）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

(1)　文中の（　①　）～（　④　）に入る語句として適切なものを、次の**＜語群＞ア**～**カ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

**＜語群＞**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **ア**　複合 | **イ**　頻繁に | **ウ**　精選 | **エ**　適宜 | **オ**　必ず | **カ**　ほぼ常時 |

(2)　文中の（　**A**　）～（　**E**　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、解答用紙の１つのマスには１字が入る。

Ⅲ　それぞれの障害種別について、次の問いに答えなさい。

１　「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考に、病弱・身体虚弱の理解について述べた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、身体の病気で入院する子供については、入院期間が短期化しており、それに伴い入院中に教育を受ける子供も減少している。しかし、小児がんや児童福祉法で位置付けられている難病、（　①　）、強い焦燥感や不安・興奮・抑うつ症状・倦怠感などの行動問題を引き起こす（　②　）の子供は、長期間の入院や通院等が必要であり、増加傾向にある。さらに、（　③　）等の医療機器が小型化し携帯できるようになってきたこと、社会全体や各家庭の（　④　）が整ってきたこともあり、（　⑤　）医療が進んできている。最近では、（　⑥　）などの小児がん（悪性新生物）、（　⑦　）などの心身症、うつ病等の（　②　）の子供も病弱教育の対象となることが多くなり、（　⑧　）な支援が必要とされるようになってきている。これらの病弱・身体虚弱の子供については、教育関係者だけでなく、家庭や医療、（　⑨　）、保健等の関係機関が連携して（　⑩　）で取り組むことが大切である。

(1)　文中の（　①　）～（　⑩　）に入る語句として適切なものを、次の**＜語群＞ア**～**ツ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

**＜語群＞**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **ア**　慢性疾患 | **イ**　白血病 | **ウ**　社会全体 | **エ**　近視眼的な | **オ**　精神疾患 |
| **カ**　衛生環境 | **キ**　人工呼吸器 | **ク**　多面的 | **ケ**　アレルギー疾患 | **コ**　労働 |
| **サ**　摂食障害 | **シ**　無償 | **ス**　川崎病 | **セ**　住環境 | **ソ**　福祉 |
| **タ**　在宅 | **チ**　てんかん | **ツ**　透析装置 | | |

(2)　次の**ア**～**カ**の文について、下線部が正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ書きなさい。

**ア**　病弱・身体虚弱の子供に対して、書字動作等に困難が伴う場合、ICT や AT など入出力装置を適宜活用し、その子供の状態等に応じた補助用具を工夫する必要がある。

**イ**　糖尿病の子供の場合、学校生活、特に運動や行事については、「学校生活管理指導表」を活用することが大切で、それに従った活動や運動制限を行う必要がある。

**ウ**　食物アレルギーのある子供の場合、原因食品を摂取しないことが治療の原則であるが、万が一呼吸困難等の重篤な症状が出現した場合には、本人に処方されたアドレナリン自己注射薬を用いて早期に対応する必要がある。

**エ**　進行性の病気の子供の場合、言葉による表出が困難になることがあるので、進行状況を見極め、心のケアに留意しながらコミュニケーション手段を考え、活用する力を育成していくことが大切である。

**オ**　自閉症や学習障害等の発達障害の診断を受けた子供がストレスの強い環境に反応して、二次的に抑うつ症状を呈することがあるため、公認心理師などの専門家でないと、うつ病等の精神疾患の診断は難しい場合が多い。

**カ**　特別支援学校（病弱）の対象となる子供の障害の程度は、学校教育法施行令第 22 条の３に明記されている。

# 令８　特別支援学校（９枚のうち５）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

２　「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考に、視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の理解について述べた次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

視覚障害とは、視機能の（　①　）な低下により、学習や生活に困難がある状態をいう。視機能が低下していても、それが何らかの方法若しくは、（　②　）に回復する場合は視覚障害とはいわない。また、（　③　）だけに視機能の低下がある場合にも視覚障害とはいわない。視機能には、（　④　）つの機能があり、視覚障害の場合、（　⑤　）や文字の読み書き、事物の確認の困難だけでなく、物の位置や人の動きを即座に把握すること、相手の意図や感情の変化を読み取りにくいなど様々な困難さを抱える。視覚障害には、(a)視力障害、視野障害、光覚障害などがある。

(b)聴覚障害とは、聴覚機能の（　①　）な低下と（　⑥　）との相互作用によって生じる様々な問題点の総称である。代表的な機能低下として(c)難聴がある。難聴は、（　⑦　）、程度や型、障害が生じた時期や原因などによって分けることができる。特に障害がいつ生じたかにより、諸発達の様相は著しく異なり、（　⑧　）面で顕著である。教育においては、言語習得以前あるいは以後かということが子供の成長発達を考え、適切な（　⑨　）を行う上で重要な意味をもつ。

肢体不自由とは、（　⑩　）のいかんを問わず、（　⑪　）に（　①　）な障害があるものをいう。脳性まひを主とする（　⑫　）が多くみられ、他の起因疾患としては、排せつ困難や水頭症の合併症を併せもつ（　⑬　）、筋肉が壊死と部分的な再生を繰り返すことにより萎縮を生じる（　⑭　）、様々な(d)染色体異常など多くのものがある。肢体不自由のある子供は、起立、歩行、筆記、食事等（　⑮　）や学習上における運動・姿勢の全部又は一部に困難がある。

(1)　文中の（　①　）～（　⑮　）に入る語句や数字として適切なものを、次の**＜語群＞ア**～**ニ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じものが入る。

**＜語群＞**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **ア**　四肢体幹 | **イ**　言語発達 | **ウ**　ネフローゼ症候群 | **エ**　短期間 | **オ**　日常生活 |
| **カ**　環境 | **キ**　片眼 | **ク**　脳原性疾患 | **ケ**　断続的 | **コ**　障害部位 |
| **サ**　二分脊椎症 | **シ**　遺伝 | **ス**　動作模倣 | **セ**　7 | **ソ**　上肢及び下肢のみ |
| **タ**　教育的対応 | **チ**　社会生活 | **ツ**　運動発達 | **テ**　発生原因 | **ト**　5 |
| **ナ**　永続的 | **ニ**　筋ジストロフィー | | | |

(2)　下線部(a)の遠距離視力を測定する場合では、次の**図１**のランドルト環を指標として用い、切れ目が識別できるかで測定する。その際に、ランドルト環のマス目を 1.5㎜とした場合、提示したランドルト環より何ｍ離れて測定するか書きなさい。

**図１**

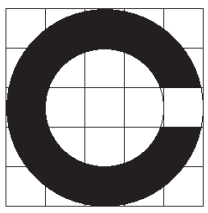
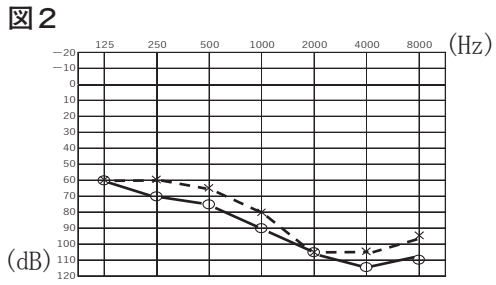


**図２**




(3)　下線部(b)について、聴力検査で測定した周波数の聴力レベルを示した上の**図２**を何というか、カタカナ７字で書きなさい。

(4)　下線部(c)は、次の**表**のように分類される。表中の（　**A**　）、（　**B**　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

**表**

| 区　分 | （　**A**　）性の聴覚障害 | （　**B**　）性の聴覚障害 |
|---|---|---|
| 1　鼓膜・中耳所見 | 異常なし | 異常あり |
| 2　気導聴力レベル | 全く反応のない程度まで様々 | 70db をこえない |
| 3　気・骨導聴力ギャップ | 小さい | 大きい |
| 4　リクルートメント現象 | ある | ない |
| 5　聴力型 | 高音部の障害が顕著 | 水平型・低音部の障害等 |
| 6　語音明瞭度 | わるい | よい |

(5)　下線部(d)のうち、21 番目の染色体の変異によって引き起こされる先天性の疾患を指し、筋肉の緊張が低く、多くの場合、発達の遅れがみられる染色体異常の疾病名を書きなさい。ただし、解答用紙の１つのマスには１字が入る。

# 令８　特別支援学校（９枚のうち６）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

Ⅳ　特別支援学校（知的障害）における教員 **a**、教員 **b** 及び教頭のやりとりを読んで、あとの問いに答えなさい。

教員 **a**：本校の教員研修は、「児童生徒の実態を踏まえた授業づくり」を本年度の研修テーマとします。
教員 **b**：児童生徒の実態を踏まえるということは、まず知的障害のある児童生徒の学習上の特性を教員が共通理解しないといけないのではないでしょうか。
教員 **a**：確かにそうですね。教員によって知的障害のある児童生徒の学習上の特性に対する認識が異なるかもしれません。知的障害のある児童生徒の学習上の特性について共通理解をするための参考文献として適切なものをご存じないですか。
教頭　：文部科学省の、特別支援学校学習指導要領解説（各教科等編（小学部・中学部））（平成 30 年告示）や「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考にするのがよいと思います。
教員 **a**：これらの文献を基に知的障害のある児童生徒の学習上の特性に関係する資料を作成し、教員研修を実施します。
教頭　：知的障害のある児童生徒の教育課程や授業づくりについても教員研修を行っていただけませんか。
教員 **b**：わかりました。私が担当します。

1　教員 **a** が知的障害のある児童生徒の学習上の特性について、特別支援学校学習指導要領解説（各教科等編（小学部・中学部））（平成 30 年告示）「第４章　知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」から一部抜粋して作成した次の文中の（　①　）～（　⑦　）に入る語句として適切なものを、あとの**＜語群＞ア～ソ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

・学習によって得た（　①　）や技能が（　②　）になりやすく，実際の生活の場面の中で生かすことが難しいことが挙げられる。そのため，実際の生活場面に即しながら，繰り返して学習することにより，必要な（　①　）や技能等を身に付けられるようにする（　③　），段階的な指導が重要となる。
・（　④　）が少ないことなどにより，（　⑤　）に活動に取り組む意欲が十分育っていないことが多い。そのため，学習の過程では，児童生徒が頑張っているところやできたところを細かく認めたり，称賛したりすることで，児童生徒の（　⑥　）や（　⑤　）に取り組む意欲を育むことが重要となる。
・（　⑦　）な内容の指導よりも，実際的な生活場面の中で，具体的に思考や判断，表現できるようにする指導が効果的である。

**＜語群＞**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **ア**　経験 | **イ**　主体的 | **ウ**　意欲的 | **エ**　問題行動 | **オ**　抽象的 |
| **カ**　知識 | **キ**　コミュニケーション | **ク**　断片的 | **ケ**　継続的 | **コ**　発展的 |
| **サ**　成功経験 | **シ**　自信 | **ス**　教科学習 | **セ**　自己肯定感 | **ソ**　生活の課題 |

2　教員 **b** が知的障害のある児童生徒の教育課程について、「障害のある子供の教育支援の手引」（令和３年）を参考に、作成した次の文中の（　①　）～（　④　）に入る語句として適切なものを、あとの**＜語群＞ア～ク**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

特別支援学校（知的障害）の各教科は、小学校等との各教科の目標及び内容の（　①　）、関連性や知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえ、段階ごとの目標及び内容が示されている。

小学部の各教科等については、（　②　）、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、特別の教科である道徳、特別活動並びに（　③　）については、特に示す場合を除き、全ての児童生徒に履修させるものとなっている。また、（　④　）については、児童生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができることになっている。なお、小学部の教科に、社会科、理科、家庭科が設けられていないが、児童生徒の具体的な生活に関する学習の中で社会や自然等に直接関わったり、気付いたりすることができるように、それらの教科の内容を（　②　）科に包含しているという特徴がある。

**＜語群＞**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **ア**　系統性 | **イ**　教科・領域 | **ウ**　生活 | **エ**　外国語活動 |
| **オ**　総合的な学習の時間 | **カ**　書写 | **キ**　自立活動 | **ク**　連続性 |

# 令８　特別支援学校（９枚のうち７）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

3　教員 **b** が「児童生徒の実態を踏まえた授業づくり」を推進するため、特別支援学校学習指導要領解説（各教科等編（小学部・中学部））（平成 30 年告示）「第４章　知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」を参考に作成した次の**資料**を読んで、あとの問いに答えなさい。

**資料**　児童生徒の実態を踏まえた授業づくり－各教科等を合わせた指導の特徴と留意点等－

| 名　称 | 特徴と留意点等 |
|---|---|
| （　A　）学習 | 児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する。農耕、園芸、紙工、裁縫、金工、クリーニングのほか、事務、販売、清掃、接客なども含み多種多様である。 |
| （　B　）の指導 | 主に小学部段階において、身体活動を活発にし、仲間とのかかわりを促し、意欲的な活動を育み、心身の発達を促していくものである。小学部の就学直後をはじめとする低学年においては、幼稚部等における学習との関連性や発展性を考慮する上でも効果的な指導の形態となる場合がみられる。 |
| （　C　）学習 | 児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。児童生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切である。 |
| （　D　）の指導 | 児童生徒の（　D　）が充実し、高まるように（　D　）の諸活動について、知的障害の状態、生活年齢、学習状況や経験等を踏まえながら計画的に指導する。衣服の脱着、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的生活習慣の内容や、あいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること、きまりを守ることなどの（　D　）や社会生活において、習慣的に繰り返される、必要で基本的な内容が扱われる。 |

（　A　）学習においては、中学部では（　E　）の目標及び内容が中心となる。高等部では（　F　）、家庭科及び情報科の目標及び内容や、主として専門学科において開設される各教科の目標及び内容を中心とした学習へとつながる。

小学部の段階では、（　G　）の目標及び内容を中心して（　A　）学習を行うことも考えられるが、児童の生活年齢や発達の段階等を踏まえれば、学習に意欲的に取り組むことや、集団への参加が円滑にできるようにしていくことが重要となることから、（　C　）学習の中で（　A　）学習につながる基礎的な内容を含みながら単元を構成することが効果的である。

(1)　資料中の（　A　）～（　D　）に入る各教科等を合わせた指導の名称を、解答欄に合うようにそれぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

(2)　資料中の（　E　）～（　G　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、解答用紙の１つのマスには１字が入る。

4　教員研修終了後に教員 **c** が児童 **d** について、教員 **a** に相談をした次の会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

教員 **c**：私のクラスの児童 **d** ですが、教室の机やロッカー等に足や腕などをぶつけてしまうことが度々あり、体にあざができることがあります。自立活動の授業でどのように指導すればいいのでしょうか。

教員 **a**：児童 **d** の実態を教えてください。

教員 **c**：児童 **d** の実態は**表**のとおりです。

教員 **a**：特別支援学校学習指導要領解説（自立活動編）（平成 30 年告示）を見ながら一緒に考えましょう。まず、児童 **d** の実態として（　①　）ことから、自分の身体に対する（　A　）が十分に育っていないと考えられます。そこで、（　B　）運動や（　C　）運動を通して、全身及び身体の各部位を意識して動かしたり、身体の各部位の名称やその位置などを言葉で理解したりするなど、自分の身体に対する意識を高めながら、自分の身体が起点となって位置、方向、遠近の（　A　）の形成につなげられるように指導すればいいと思います。

**表**

＜児童 **d**：小学部４年生、男児＞

**ア**　半袖半ズボンで一年間過ごすなど服装に関するこだわりがある

**イ**　言語が不明瞭なため、自分の気持ちや要求を言語で伝えることが難しく、イライラして手が出てしまう

**ウ**　てんかん発作がよくおきる

**エ**　カラオケが好きである

**オ**　教員の動作をまねることが難しい

**カ**　運動量が少なく、肥満傾向である

**キ**　過去の失敗経験から自信をなくしている

教員 **c**：もう１つ質問があります。児童 **d** ですが、活動の途中で床に寝そべり、動きたがらない状況が多く見られます。このような場合の自立活動での指導の内容を教えてください。

教員 **a**：児童 **d** の実態として（　②　）ことから、二次的要因によって体力低下を招いていると考えます。このような体力低下を防ぐためには、運動への意欲を高めながら適切な運動を取り入れ、食生活と健康について実際の生活に即して学習したりするなど、日常生活における自己の健康管理のための指導が大切です。医療機関や（　D　）との密接な連携も大切になります。

(1)　文中の（　①　）、（　②　）に入る児童 **d** の実態を、**表**の**ア**～**キ**からそれぞれ１つ選んで、その符号を書きなさい。

(2)　文中の（　A　）～（　D　）に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。また、解答用紙の１つのマスには１字が入る。

特別支援 8/9

受験番号

# 令８　特別支援学校解答用紙（９枚のうち８）

総計

特別支援

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 1 | (1) | A | | B | | C | | |
| | | | D | | E | | F | | |
| | | | G | | H | | I | | |
| | | (2) | ア | | イ | | ウ | | |
| | | (3) | ア | | イ | | ウ | | |
| | | | エ | | オ | | | | |
| | 2 | (1) | A | | (2) | B | | (3) | C |
| | | (4) | D | | (5) | E | | | |
| | 3 | (1) | ① | | ② | | ③ | | |
| | | | ④ | | ⑤ | | | | |
| | | (2) | A | | | | | | |

Ⅰ

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅱ | 1 | (1) | A | | | B | | | C |
| | | | D | | | | | E | |
| | | (2) | ア | | イ | | ウ | | エ |
| | 2 | ① | | ② | | ③ | | ④ | |
| | | ⑤ | | ⑥ | | ⑦ | | | |
| | 3 | (1) | ① | | ② | | ③ | | ④ |
| | | (2) | A | | | ・ | | | B |
| | | | C | | | D | | | E |

Ⅱ

受験番号

# 令８　特別支援学校解答用紙（９枚のうち９）



| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅲ | 1 | (1) | ① | | ② | | ③ | | ④ | | ⑤ | |
| | | | ⑥ | | ⑦ | | ⑧ | | ⑨ | | ⑩ | |
| | | (2) | ア | | イ | | ウ | | | | | |
| | | | エ | | オ | | カ | | | | | |
| | 2 | (1) | ① | | ② | | ③ | | ④ | | ⑤ | |
| | | | ⑥ | | ⑦ | | ⑧ | | ⑨ | | ⑩ | |
| | | | ⑪ | | ⑫ | | ⑬ | | ⑭ | | ⑮ | |
| | | (2) | m | | | | (3) | | | | | |
| | | (4) | A | | B | | (5) | | | | 症 | |

Ⅲ

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅳ | 1 | ① | | ② | | ③ | | ④ | | ⑤ | |
| | | ⑥ | | ⑦ | | | | | | | |
| | 2 | ① | | ② | | ③ | | ④ | | | |
| | 3 | (1) | A | 学習 | | B | の指導 | | | | |
| | | | C | 学習 | | D | の指導 | | | | |
| | | (2) | E | | ・ | | | 科 | | | |
| | | | F | | 科 | G | | | 科 | | |
| | 4 | (1) | ① | | ② | | | | | | |
| | | (2) | A | | | B | | | | | |
| | | | C | | | D | | | | | |

Ⅳ

受験番号

# 令８　特別支援学校模範解答（９枚のうち８）

総計 200

特別支援

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 1 | (1) | A | ニーズ | | B | 指導 | C | 発達 | |
| | | | D | 学校 | | E | 特性 | F | 合理的 | |
| | | | G | 社会 | | H | 障壁 | I | 授業 | |
| | | (2) | ア | ○ | イ | × | ウ | ○ | | |
| | | (3) | ア | 社会 | | イ | ○ | ウ | ○ | |
| | | | エ | 自己肯定感 | | オ | ○ | | | |
| | 2 | (1) | A | センター | (2) | B | 実現 | (3) | C | 本人 |
| | | (4) | D | 権利 | (5) | E | 状態 | | | |
| | 3 | (1) | ① | ク | ② | サ | ③ | オ | ④ | キ | ⑤ | セ |
| | | (2) | A | 限度 | | | | | | |

Ⅰ 63

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅱ | 1 | (1) | A | 把 | 握 | B | 身 | 体 | C | 保 | 持 | | | |
| | | | D | 人 | 間 | 関 | 係 | E | 心 | 理 | | | | |
| | | (2) | ア | × | イ | ○ | ウ | ○ | エ | ○ | | | | |
| | 2 | ① | カ | ② | エ | ③ | ク | ④ | ウ | | | | | |
| | | ⑤ | サ | ⑥ | ア | ⑦ | イ | | | | | | | |
| | 3 | (1) | ① | ウ | ② | カ | ③ | イ | ④ | エ | | | | |
| | | (2) | A | 資 | 質 | ・ | 能 | 力 | B | 年 | 齢 | | | |
| | | | C | 経 | 験 | D | 目 | 的 | E | 社 | 会 | | | |

Ⅱ 45

受験番号

# 令８　特別支援学校模範解答（９枚のうち９）



| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅲ | 1 | (1) | ① | ア | ② | オ | ③ | キ | ④ | カ | ⑤ | タ |
| | | | ⑥ | イ | ⑦ | サ | ⑧ | ク | ⑨ | ソ | ⑩ | ウ |
| | | (2) | ア | ○ | イ | × | ウ | ○ | | | | |
| | | | エ | ○ | オ | × | カ | ○ | | | | |
| | 2 | (1) | ① | ナ | ② | エ | ③ | キ | ④ | セ | ⑤ | ス |
| | | | ⑥ | カ | ⑦ | コ | ⑧ | イ | ⑨ | タ | ⑩ | テ |
| | | | ⑪ | ア | ⑫ | ク | ⑬ | サ | ⑭ | ニ | ⑮ | オ |
| | | (2) | 5　m | | | | (3) | オ | ー | ジ | オ | グ | ラ | ム |
| | | (4) | A | 感音 | | | B | 伝音 | | | (5) | ダ | ウ | ン | 症 |

Ⅲ 46

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅳ | 1 | ① | カ | ② | ク | ③ | ケ | ④ | サ | ⑤ | イ |
| | | ⑥ | シ | ⑦ | オ | | | | | | |
| | 2 | ① | ク | ② | ウ | ③ | キ | ④ | エ | | |
| | 3 | (1) | A | 作業　学習 | | | B | 遊び　の指導 | | | |
| | | | C | 生活単元　学習 | | | D | 日常生活　の指導 | | | |
| | | (2) | E | 職 | 業 | ・ | 家 | 庭 | 科 | | |
| | | | F | 職 | 業 | 科 | G | 生 | 活 | 科 | |
| | 4 | (1) | ① | オ | ② | カ | | | | | |
| | | (2) | A | 概 | 念 | B | 粗 | 大 | | | |
| | | | C | 微 | 細 | D | 家 | 庭 | | | |

Ⅳ 46